

3 創意工夫ある教育活動

(1) 学力向上に向けた取組み

- ・ICT 機器の効果的な活用を図り、基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着を目指す。また、授業の中に話し合い活動を取り入れ、習得した知識や技能を活用する場面を多く設定し、自主的・自発的に探究する学習姿勢が身に付くよう指導の充実を図る。
- ・各教科の授業では、指導と評価の一体化を図り、個に応じた指導を行うとともに、数学と英語における少人数習熟度別学習指導の実施、学習指導支援員の効果的な活用、放課後学習教室等により、個別指導を充実させ学力向上を目指す。
- ・放課後学習では、学習指導支援員を担当者に充て、学生ボランティアを募り、学習に遅れがちな生徒を組織的に支援する。
- ・生徒が自ら学校や家庭における学習状況を評価し、その評価資料やフォローアップワークシートを活用しながら自ら学ぶ姿勢を育てる。特に家庭学習については、学習計画表に基づく学習が習慣化できるよう保護者との連携を密にとり、一人ひとりに応じた支援を行う。
- ・基礎的・基本的な学習内容の確かな定着を図るため、放課後や長期休業中において個々の生徒の実態に応じた学習教室を実施する。その際、自ら課題を設定し進んで学習するよう意欲を高める指導を重視して進める。
- ・スポーツギネス新宿（ダブルダッチ）や陸上の朝練習等、身体を鍛える機会、場所を全校生徒に提供し、積極的な参加を促すことにより、自ら身体を鍛えようとする意欲を引き出し、運動の日常化を図る。

(2) 地域の実態・特色を活かした活動

- ・キャリア教育を推進し、生徒一人一人の発達を系統的・計画的に支援する。そのために、地域、大学、高等学校、公共機関・民間企業等の様々な機関と連携し、体験的な学習を充実させ、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる。
- ・地域の青少年育成会と緊密な連携を図り、地域との協力体制を確立する。生徒の地域行事への積極的参加を通して地域と共に生徒の健全育成を行う。
- ・地域の公共図書館と連携しながら近隣の幼稚園・小学校に「読み聞かせ」を行い、言語力・表現力を育てるとともに、交流を通して地域の一員としての自覚をもたせる。
- ・地域協働学校運営協議会を定期的に開催し、学校から生徒の実態や教育活動等に関する情報を積極的に発信するとともに、地域の意見を謙虚に受け止めていくことを通して、学校と地域が一体となって取り組む健全育成の基盤を創る。また、スクール・コーディネーターとの連携を充実させ、保護者対象の子育てに関する講演会等を実施するなど、学校と地域協働学校運営協議会が連携して家庭教育を支援する。
- ・地域協働学校として、学校評価に基づく地域住民や学識経験者等との意見交換を通して、地域に信頼され開かれた学校づくりを目指す。
- ・社会に開かれた教育課程の実現及び本校の教育活動への支援体制の構築に向け、保護者会や学校だよりやホームページ等により積極的に情報を発信するとともに、保護者・地域人材に対し、学校教育等への参画を求め、その充実を図る。

第3表

学校名 新宿区立新宿西戸山中学校

4 学校別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

月 学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
1	15	19	20	15	5	20	22	21	18	17	18	18	208
2	16	19	20	15	5	20	22	21	18	17	18	18	209
3	16	19	20	15	5	20	22	21	18	17	18	15	206
備 考	第1学年は、1学期の始業式に参加しないため1日減となる。 第3学年は、卒業式が3月19日（木）となるため、3日減となる。 4月21日（土）は土曜授業参観および保護者会を行うため4月は1日増となる。 6月11日（火）開校記念日を授業日とする。 7月6日（土）は地域防災訓練及び土曜授業公開を行うため、7月は1日増となる。 9月7日（土）は道徳授業地区公開講座を行うため、9月は1日増となる。 10月1日（火）都民の日を授業日とし、10月12日（土）は土曜日に学校公開を行うため、10月は2日増となる。 11月2日（土）は土曜授業参観を行うため、11月は1日増となる。 3月7日（土）は学芸発表会展示の部を行うため、3月は1日増となる。												